

宮崎大学 産学・地域連携センター 機器分析支援部門

宮崎大学 産学・地域連携センター 機器分析支援部門



産学・地域連携センターとは？



技術相談、知的財産、試料分析等を通して、地域、産業界と大学との連携をサポートします。

機器分析支援部門とは？

- 1980年(昭和55年) 分析センターとして発足
- 1995年(平成7年) 省令施設化され機器分析センターとなる
- 2003年(平成15年) 改組によりフロンティア科学実験総合センターに統合
- 2004年(平成16年) 宮崎大学法人化
- 2006年(平成18年) 改組により現産学・地域連携センターに統合



機器分析支援部門では、学内外の利用者に対して、保有する大型機器を利用した研究・教育の支援および分析技術の向上を目的とした活動を展開しています。

問い合わせ先
電話(代表) 0985-58-2868
ファックス 0985-58-2868
メール mrc@of.miyazaki-u.ac.jp

業務内容

学内及び学外からの分析機器利用の支援

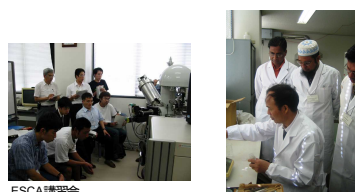
共同利用の要望の多い分析機器を導入して、機器分析支援施設の充実に努めています。施設に設置された分析機器は、学内研究者だけでなく、学外の企業等技術者にも利用いただけるように支援体制を整えています。学外からの分析・測定依頼も受け入れています。部門専任教職員と学内協力教職員とにより機器の保守管理体制を整えており、さらに利用者講習会を開催するなど、利用者の分析技術の向上と分析機器の適正な利用を図っています。

分析技術の紹介や相談による分析技術の啓蒙及び地域貢献

新しい分析技術の紹介と分析機器利用者による相互の研究発表の場として、学外の企業技術者にも参加してもらい「分析講演会」を毎年開催しています。分析機器の講習会や研修会を随時開催し、分析機器の測定原理、利用技術及び最新の分析手法などの情報をお伝えできるようにしています。専任教職員を中心に企業等からの分析技術相談にも適切に対応される体制を整えています。

研修生の受け入れ

JICAやNGOなどの要請により、国内外の研修生を受け入れ、分析技術の研修を行っています。



ESCA講習会

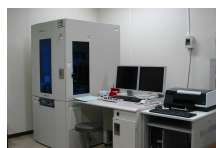
JICA研修生受け入れ



どっぶり 合宿(高校生対象)

保有機器

- ・透過型電子顕微鏡TEM(日本電子 JEM-2010)
- ・走査型電子顕微鏡SEM(日立 S-4100M、日立 S-5500)
- ・X線光電子分光装置XPS/ESCA(島津KRATOS AXIS-HS)
- ・核磁気共鳴装置NMR(ブルカー AV400M)
- ・質量分析装置MS(ブルカー autoflex III TOF、サーモフィッシャー Q-Exactive)
- ・X線回折装置(PANalytical X'Pert PRO MRD) など



SEM/日立S-5500



ESCA/島津KRATOS AXIS-HS



NMR/ブルカーAV400M



MS/ブルカー autoflex III TOF



XRD/PANalytical X'Pert PRO MRD



UNIVERSITY OF MIYAZAKI